

スターライン バスウェイ

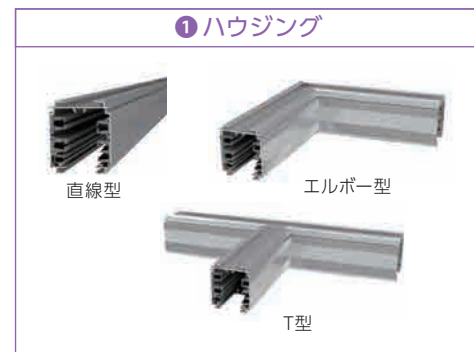
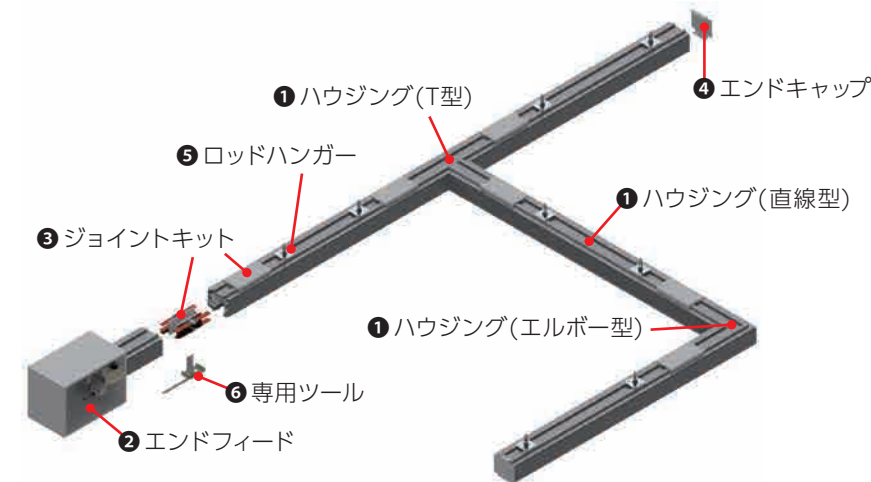
世界標準のバスダクト スターライン バスウェイシステム

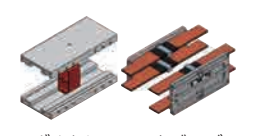
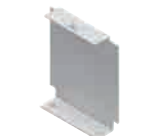
スターライン バスウェイはデータセンター、研究機関、工業、商業などのあらゆる分野において最適化した電源供給システムを構築します。

- ▶ 当社の豊富な日本国内実績
- ▶ 設計サポート・ソリューション提案
- ▶ 利用環境に合わせたカスタマイズ
- ▶ 短時間・ローコストでの施工
- ▶ 増設・拡張に対する柔軟性
- ▶ プラグインタップオフユニットは自由な位置で活線接続可能
- ▶ 電力モニタは様々な通信プロトコルに対応
- ▶ 床下設置が可能
- ▶ AC/HVDC対応



主な構成部材



2 エンドフィード	3 ジョイントキット	4 エンドキャップ	5 ロッドハンガー	6 専用ツール
 電力モニタ(CPM)搭載可能	 ボルトレスでハウジング エンドフィードを確実に接続	 ハウジングのエンド部分に装着	 M12寸切りボルト対応吊り金具	 ジョイントキット挿入用工具

プラグイン タップオフユニット

高いカスタマイズ性

- ・電力モニタ(CPM)搭載可能(最大6回路/モニタ)
- ・出力コネクタはIEC規格品・NEMA規格品などから選択。口数も指定可能。
- ・コネクタタイプはレセプタクルタイプ・ドロップコードタイプの2種類から選択可能
- ・ブレーカーは定格遮断容量、トリップカーブの要求に応じたカスタマイズ可能



簡単かつ自由な接続

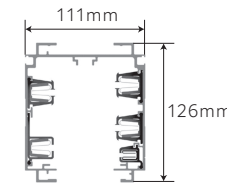
- ・工具不要で自由な位置に挿入→回転で取付
- ・ボルトを使わず確実に接続
- ・ボルトのゆるみを気にする必要がないため、定期点検は不要



製品仕様

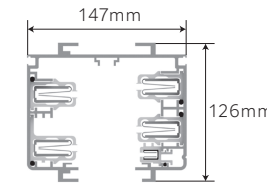
定格電圧	415V							
定格電流	160A	225A	250A	400A	630A	800A	1000A	1250A

▶ グローバルシステムとメトリックシステム



400A グローバルシステム
ハウジング断面図

- ・IEC61439-1,-6に準拠
- ・軽量、コンパクト構造



400A メトリックシステム
ハウジング断面図

- ・UL857, IEC61439-1,-6に準拠
- ・トップクラスの短絡電流特性
- ・堅牢なつくり

▶ 100%ニュートラルと200%ニュートラル

高調波対策などに対応できる
200%ニュートラル設定がございました。

▶ 内部グランド導体

ノイズ対策に有効な内部グランド導体付き
オプションです。

▶ カラーバリエーション

本体・プラグインタップオフユニットともに
筐体の塗装が可能です。(通常色はシルバー)

●赤 ●黒 ●青 ○白 その他RALカラー指定

▶ クリティカルパワーモニター(CPM)

電力モニタリングはエンドフィードとプラグインタップオフユニット上で行えます。
CPMは以下の通信プロトコルに対応しています。

- ・Modbus TCP
- ・Modbus RTU
- ・SNMPv1
- ・SNMPv2c
- ・SNMPv3
- ・BACnet
- ・HTTP/HTTPS
- ・Telnet/SSH
- ・PROFINET
- ・イーサネット/IP



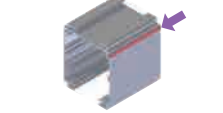
※予告なく新シリーズ品に変更となる場合がございます。

代表的なCPM測定項目

測定値の例	精度
電圧 L-N	
電圧 L-L	測定値の0.5%
電流※	
有効電力	
無効電力	ANSI 12.20クラス0.5
皮相電力	
電力量	
力率	測定値の1.0%
周波数	+/- 0.1Hz

※ニュートラル電流測定はオプションです。

主なオプション品

 ロードバンク コミショニング試験用 プラグインタップオフ機器	 データチャンネルカバー LANケーブル収納 電源系統識別用の2つの用途	 クロージャーストリップ ハウジング内部に 作業者の手が入ることを防止	 アングルドメーター CPMに角度を つけることで視認性向上	 IRウィンドウ エンドフィードの小窓から 側板を取り外さず赤外線検査
---	--	---	--	---

ケーブルと比較したバスウェイを採用する4つのメリット

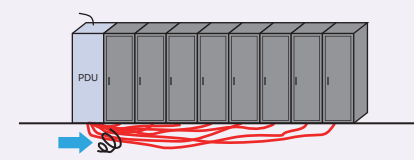
空調効率UP

増設が容易

トータルコストの削減

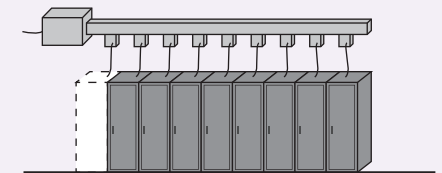
PDU設置スペースの 有効活用

■ ケーブルを使用した場合 (フリーアクセスフロアを想定)



- ・過密状態となった配線によるエアフローの障害
- ・増設時には床下作業が必要
- ・サーバー負荷に応じてケーブルの交換が必要

■ スターライン バスウェイを使用した場合



- ・エアフローが改善され空調効率UP
- ・PDUが不要となることでラック設置台数を増やすことができる